



# ちいとう。

東京土建一般労働組合  
台東支部  
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2  
1:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965  
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp  
HP:<http://doken-taito.jp>  
編集 杉本 郁代

組織の増勢、発展を祈願して鏡割り



# 区に処遇改善を要望

東京都内の様々な労働組合の集合体「東京春闘共闘会議」では、毎年1月に自治体キヤラバンと称し、各自治体への申し入れを行っています。東京土建台東支部もこの東京春闘共闘会議の構成団体です。1月15日に台東区との懇談を行いました

4年に及んだコロナ禍に収束の兆しが見えてきたものの、急激な物価高が進み、私たちの暮らしや仕事に様々な影響が出ています。人手不足も加速し、今春4月以降は建設業・運輸流通業でも働き方改革が完全実施になります。この申入れを通じて、地域の賃金相場形成に大きな影響を与えます。

れる台東区職員や、入札公共工事に従事する建設労働者の待遇改善を要望しました。

また、昨年12月に成立した公契約条例に関して地元の建設組合として質問・要望を伝えました。(①)条例制定にあたり、現場に従事している労働者の賃金調査を区として聞き取り調査をしてほしい(②)条例制定時の労働条件や賃金下限額を決めるための労働報酬審議会の委員に、東京土建台東支部を加えてもらいたい旨を伝えました。区側の回答は従来の労働環境報告書で元請会社より確認している賃金や労働条件について、さらに踏み込んだ詳細

な内容の告書の提出を求めるところと、学識験者、事務者団体、労働関係者、体からそぞれ審議員の選任を予定しているところのことでした。その後に能登島の震災を東区の防災入れをしま役割を果たすうえで、接台東区と自治体が環型経済の意見を伝え常に重要で

A photograph showing four people in a meeting room. From left to right: a man in a dark suit and white shirt; a woman with long dark hair in a light-colored top; a man in a dark suit and glasses; and a man in a dark suit and white shirt. The man in the dark suit and glasses is wearing a white face mask. They appear to be engaged in a formal discussion or presentation.

治体自治生  
は今年で20  
台東区側の  
労働組合を  
の話をすこ  
視していく  
とれます。  
東支部2名  
名でした。



A photograph showing the back of a person's head and shoulders, looking towards a group of people at a table during a meeting.

もかなわないと思うからだ。  
十二支で私は戌だが、なぜだろう結構気に入っている。今は年賀状で確認しないと干支をすべて言えないとか自分がどれかさえ知らないという若者もいるらしい。だからなんなの?と言わされてしまえばそれまでのことで、私も運勢をどうのこうの押しつけるつもりはない。ただ生きている中で感動し、心が揺さぶられるような場面に出くわすことがあるので、その時は素直な感謝の心で対峙したいと思う。我が夫は辰だが十二支の中では唯一の未確認生物なので、信じるか否かは枝次第。

年明けの1月20日に台東支部の新春交歓会が、上野東天紅で行われました。雨混じりの寒空の中、大勢の仲間が駆けつけてくれました。参加者は組合員55名、来賓20名、計75名でした。

# 建設産業の民主化を目指す誓い

## 公契約条例を追い風に

### 盛大に新春交歓会を開催

寺山委員長の挨拶で  
幕を開けた新春交歓会、物故者への黙とうのあ

にはやはり震災の話  
になり、暗い年明けになりました。冒

部ブロック、  
政党の挨拶に

追い風に 部ブロック、各  
政党の挨拶にな  
りました。冒頭  
にはやはり震災の話し  
になり、暗い年明けと  
なりましたが、明るい  
話題もあります。昨年  
末に10年を超える運動  
が実を結び、台東区公  
契約条例が区議会で可  
決されました。今年4  
月からの施行を予定し  
ています。これによつ  
て賃金確保、労働環境  
の改善が期待されます。  
寺山委員長の挨拶で  
幕を開けた新春交歓会  
物故者への黙とうのあ  
と、元旦に起きた能登  
半島の震災に触れまし  
た。あれから3週間過  
ぎても依然復旧の見込  
みのない現状をみて、  
私たちのできる支援等  
の取組みについても訴  
えました。その後、來  
賓の東京土建本部・東

問題です。これからも進行状況を注視していくかなければなりません。

A woman with long dark hair, wearing a dark grey ribbed dress with puffed shoulders and a belt, stands in front of a wooden wall. She is holding a white menu with a red ribbon graphic in her left hand and a large, colorful promotional image of a Wagyu beef meal in her right hand. The promotional image features a large piece of raw Wagyu beef, a bowl of rice, and a glass of beer. The text on the image includes "松阪牛" (Matsusaka Beef) and "Wagyu Beef".

松坂牛が見事当たりました

木洩れ日

日々特に信仰心もないくせに年末になると

来年の運勢は？とか、初もうではどこへ行こうとか自分の運気を気にする行動に出てしまふのは私だけではないだろう。

日本人は宗教心も相対的に薄いらしいが自然崇拜は昔からあつたと思う。山や海、星や草木、動物などに手をあわせてきた。その行為は人を神のごとく拝み奉るより少なくとも私にはすんなりと心に入つてくる。自然の偉しさには人間などとてもかなわないと思うからだ。

十二支で私は戌だが、なぜだろう結構気に入っている。今は年賀状で確認しないと干支をすべて言えないとか自分がどれかさえ知らないという若者もいるらしい。だからなんなの？と言わされてしまえばそれまでのことで、私も運勢をどうのこうの押し付けるつもりはない。ただ生きている中で感動し、心が揺さぶられるような場面に出くわすことがあるので、その時は素直な感謝の心で対峙したいと思う。我が夫は辰だが十二支の中では唯一の未確認生物なので、信じるか否かは彼次第だ。

(S)

# 私の大切なものの ~分会リレートーク~



谷中分会の高井さん

は造園会社を営む高  
井博さんです。質問  
通り沿いにある会社  
事務所でお話をうか  
がいました。

元々日本鋼管で仕事

谷中分会の3回目  
は造園会社を営む高  
井博さんです。質問  
通り沿いにある会社  
事務所でお話をうか  
がいました。

をしていて、その後当  
時兄が経営していた造  
園の仕事を就きました。  
会社名である「盛香園」  
は初代のお父さんが名  
づけ、二代目の兄さ  
んから高井さんが継ぎ、  
さらには現在高井さん

の長男が社長となり、  
100年の歴史があり  
ます。並行して続けて  
きたお花屋さんも40  
年を超えます。

会社には現在12人が

所属し、お寺の依頼や

区発注の工事などを幅

広く手がけています。

高井さんはお客様の

考えを大事にして、気

持ちに寄り添うように

仕事をしてきました。

何もないと腕は落ち

ていくものだから、お

客さんからの要望は、あ

げてくれるものとの

が高井さんの願いです。

12月16日に町田市民  
ホールにて東京母親大  
会が開催されました。  
冬日和の暖かい日で、  
たくさんの人たちが参  
加し熱気に溢れていま  
した。午前中は分科会、  
私たちは石垣島ミサイ  
ル基地建設の賛否を問  
う、若き島民の戦う姿  
をドキュメンタリー映  
画「若きハルサーたち  
の唄」を観ました。そ  
して制作者の湯本雅典  
さんによる、宮古島や

記念講演では政治學  
者の五野井郁夫さんよ  
り「なぜいま平和憲法  
も一体になり楽しみま  
した。

日本が巻き込まれること  
がありました。特に台湾  
有事と日本の想定シナ  
リオは、日本にある米  
軍基地を使える状況、  
なか」について話が  
ありました。特に台湾  
とが前提とされている  
と説明がありました。  
日本安保をよく理解し  
て、民意として憲法9  
条のある国には軍備は  
いらない、と声を上げ  
続けることの大切さを  
学んだ大会でした。

女性の会 新藤間洋子

書き初め練習会を12月  
26日（火）に支部3階  
で開催しました。

10年以上続いている  
書き初め練習会を12月  
6才から14才迄のお  
子さん達が参加され毛  
筆、硬筆に分けて各自  
が用意した条幅用のだ  
松が谷分会 Y・S

※年度末に大賞を決めます  
受賞者にはクオカードを進呈

## 第56回東京母親大会



様々な団体がステージに登壇しました

# 響かせよう戦争反対の声を

## 努力の甲斐あって 力作が出来あがりました



参加してくれた子供たちの作品です

誰でも俳句  
あなたも山柳

川柳

ドア開けて 思い出せずに  
ドア閉める

人任せ 一人右向きや みんな右  
寒いのと 抱きつく女（ひと）の  
愛しさよ

俳句

氷雨ある いつ変わるやら

初雪に

いいもんだ

雪見酒

たまにや 一人も

初雪の 消えゆく歩道

歩きゆく

松が谷分会

I・S

勿論片付けもきち

んとして、頑張つ

て来年も会えるとい

いですネ！またお待

ちしています。